

いちい 1月



岐南中学校教育目標
自分や仲間の
「夢や希望」の実現のために
自ら動く

新年あけましておめでとうございます。

2021年が始まりました。この時期は、年度という学年の締めくくりの時期でもあり、来年度に向けての準備をしていくという意味で、よく新年度ゼロ学期とも言われたりします。3年生にとっては進路実現に向けて、1・2年生は進級に向けての準備の時期であると同時に、年度という学年の締めくくりの時期でもあります。

一月は行く、二月は逃げる、三月は去る。と言われるように、毎日を何気なく過ごしてしまうとあっという間に終わってしまいます。今まで培ってきた財産の上に成り立つゼロ学期に目標をもって努力する毎日であってほしいと願っています。

コロナ禍ですが、「日常で鍛える」を柱にすることを全校で大事にしています。活動の中で、今取り組んでいる活動の意義や意味を見直し、活動の質の高まりを願っているところです。

岐南町長様へ
いちいカレンダーの贈呈



1年生花壇作り・ボランティア掃除

活動の質が高まり、それが当たり前になっていくことで次のステージが待っているのだと思います。まさに「当たり前を積み重ねると特別になる」ということです。

目の前にやらなければならないことがあると、すぐに愚痴や

言い訳が出てしまうこともあります。しかし、愚痴や言い訳が出ているときは、むしろ自分自身に問題があることが多いようです。

「本気で取り組む者は希望を語り、いい加減な者は愚痴を語る」です。他人のせいにしたり、環境のせいにしたりして、自分の努力が続かない者は本気で取り組んでいない証拠です。また、日頃の努力を怠り、何か大事な時だけ一所懸命な者も本来の実力を発揮できないままです。本気で取り組まなければ自分の想いも他人に伝わりません。感動も悔しさも、そして努力していくことの難しさや大切さも学ぶことができないのです。

何事も「できていること」だけを繰り返していても成長にはつながりません。今「課題に感じていること」、「苦手なこと」から逃げず、挑戦していく過程こそ成長であり、その取組が本気でなければ、目標にも到達できず、達成感も感じられずに自信をもてないままになってしまいます。一人ではできないことに、クラスで、学年で、学校全体で取り組むことができるのが学校なのです。

だからこそ、この成長の過程を私たち教師は精一杯支えていきます。今年もよろしく願います。



心を磨く掃除